

## 立命館大学大学院社会学研究科 研究科則

### (趣旨)

第1条 この研究科則は、立命館大学大学院学則(以下「大学院学則」という)第13条にもとづき、社会学研究科の教育課程、授業科目、履修および修了に関する事項について定める。

### (教育研究上の目的)

第2条 本研究科は、現代社会が提起する諸問題を社会学と既存の学問諸分野との協同によって解明し、社会的に要請される実践的課題にこたえる研究者と専門職業人の養成を目標とする。

2 応用社会学専攻博士課程前期課程は、高度専門コースでは、現代社会で必要とされる高度な知識と能力を身につけ、修士論文を執筆し、各種民間企業、学校、福祉団体、医療機関、政府機関、地方公共団体、マスメディアなど多様な分野に就職し、活躍できる人材を育成することを目的とし、研究コースでは、社会学の既存の諸理論を理解し、国内外の諸課題に応える修士論文の執筆を行い、博士後期課程での優れた研究を十分に行える能力を身につけた人材を育成することを目的とする。

3 応用社会学専攻博士課程後期課程は、現代社会が提起する諸問題に関して、社会学を中心としつつも、社会諸科学の協同によって、先端的で多面的・学際的な理論と実証的な研究を行い、博士論文を執筆し、大学の教員や研究諸機関等の研究員として活躍できる人材を育成することを目的とする。

### (コ - ス)

第3条 応用社会学専攻博士課程前期課程に、高度専門コースおよび研究コースを置く。

### (研究科、専攻および課程の英文表記)

第4条 研究科、専攻および課程の英文表記は次の各号のとおりとする。

- (1) 社会学研究科 Graduate School of Sociology
- (2) 応用社会学専攻 Major in Applied Sociology
- (3) 博士課程前期課程 Master's Program in Applied Sociology
- (4) 博士課程後期課程 Doctoral Program in Applied Sociology

### (入学時期)

第5条 本研究科の入学時期は、4月とする。

### (使用言語)

第6条 本研究科での使用言語は、日本語とする。

### (科目区分)

第7条 応用社会学専攻博士課程前期課程の授業科目は、研究領域専門科目および研究科共通専門科目に分類して配置する。

2 研究領域専門科目の授業科目は、現代社会研究領域科目、人間福祉研究領域科目および国際社

会研究領域科目に分類する。

- 3 研究科共通専門科目の授業科目は、研究科共通基幹科目、研究科共通スキル科目および研究科共通オプション科目に分類する。
- 4 現代社会研究領域科目の授業科目は、社会形成研究系科目、社会文化研究系科目、環境社会研究系科目、メディア社会研究系科目、教育社会研究系科目およびスポーツ社会研究系科目に分類する。
- 5 人間福祉研究領域科目の授業科目は、福祉社会研究系科目および福祉実践研究系科目に分類する。
- 6 国際社会研究領域科目の授業科目は、国際社会基幹科目群科目、国際社会研究系科目および国際福祉研究系科目に分類する。
- 7 研究科共通基幹科目の授業科目は、研究入門科目群科目、基礎理論科目群科目および指導科目群科目に分類する。
- 8 研究科共通スキル科目の授業科目は、語学運用科目群科目および専門社会調査士関連科目群科目に分類する。
- 9 研究科共通オプション科目の授業科目は、特殊講義科目群科目、実習・プロジェクト科目群科目および履修交流科目群科目に分類する。

(授業科目)

第8条 本研究科が自ら開設する授業科目の科目名、単位および授業方法ならびに科目区分による分類は、別表1および別表2のとおりとする。

(転入学以前に修得した単位の認定)

第9条 博士課程前期課程に転入学する以前に本研究科と他の大学院との協定に基づく学位共同プログラムにおいて修得した単位は、14単位を限度として本研究科博士課程前期課程において履修し、修得したものとみなすことがある。

2 前項の規定により修得したものとみなす単位は、研究科委員会の議を経て、研究科長が認定する。

(博士課程前期課程の修了に必要な単位数)

第10条 応用社会学専攻博士課程前期課程の修了に必要な各コースの単位数は、次のとおりとする。

(1) 研究コース

別表1の科目より、語学運用科目群科目から4単位、国際社会研究領域科目から4単位および指導科目群科目から8単位を含めた30単位以上とする。

(2) 高度専門コース

別表1の科目より、指導科目群科目から8単位を含めた30単位以上とする。

(博士課程後期課程の修了に必要な単位数)

第11条 応用社会学専攻博士課程後期課程の修了に必要な単位数は、別表2の科目より12単位以上とする。

(博士課程前期課程早期修了の申請)

第12条 大学院学則第29条ただし書きにより修了すること(以下「博士課程前期課程早期修了」という)を希望する者は、次の各号の書類を添えて研究科長に申し出なければならない。

- (1) 博士課程前期課程在学中に学術雑誌に掲載された、または掲載が予定されている論文1点の原本
- (2) 前号の掲載が予定されている論文を添える場合は、学術雑誌の発行元が発行した掲載予定の証明書
- (3) 指導教員による研究活動および研究評価に関する所見

2 前項の申し出は、次の各号に定める期日までに行わなければならない。ただし、期日が土曜日、日曜日および祝日となる場合は、直前の平日とする。

- (1) 3月修了を希望する者は、当該年度の6月末日
- (2) 9月修了を希望する者は、前年度の12月20日

(博士課程後期課程早期修了の申請)

第13条 大学院学則第32条第2項により修了すること(以下「博士課程後期課程早期修了」という)を希望する者は、次の各号の書類を添えて研究科長に申し出なければならない。

- (1) 学術雑誌に掲載された、または掲載が予定されている立命館産業社会論集以外の査読付き論文1点を含む主題に関する論文3点の原本
- (2) 前号の掲載が予定されている論文を添える場合は、学術雑誌の発行元が発行した掲載予定の証明書
- (3) 指導教員による研究活動および研究評価に関する所見

2 前項第1号の論文3点のうち1点は、在学期間中に執筆掲載されるものとする。

3 第1項の申し出の期日は、前条第2項に規定する期日とする。

(早期修了申請の認定)

第14条 研究科長は、第12条第1項または前条第1項の申し出があった者について、審査のうえ、研究科委員会の議を経て申し出を認めることができる。

2 前項の審査および審議は、申し出の期日から2カ月以内に行う。

(博士課程前期課程早期修了候補者の履修条件の緩和)

第15条 前条により博士課程前期課程早期修了の申し出を認められた者(以下「博士課程前期課程早期修了候補者」という)は、修了を予定している学期において「特別演習Ⅰ」、「特別演習Ⅱ」および「特別演習Ⅲ」を重複履修できる。

(博士課程後期課程早期修了候補者の履修条件の緩和)

第16条 第14条により博士課程後期課程早期修了の申し出を認められた者(以下「博士課程後期課程早期修了候補者」という)は、修了を予定している学期において「応用社会学特殊研究Ⅰ」、「応用社会学特殊研究Ⅱ」、「応用社会学特殊研究Ⅲ」、「応用社会学特殊研究Ⅳ」および「応用社会学特殊研究Ⅴ」を重複履修できる。

(博士課程前期課程早期修了の認定)

第17条 博士課程前期課程早期修了候補者が、修了を予定している学期の終了時に次の各号に定める事項をすべて満たした場合、研究科長は、研究科委員会の議を経て課程の修了を認めることができる。

- (1) 本研究科博士課程前期課程に1年以上在学していること。
- (2) 第10条に規定する修了に必要な単位数を修得していること。
- (3) 修士論文の審査および最終試験に合格していること。

(博士課程後期課程早期修了の認定)

第18条 博士課程後期課程早期修了候補者が、修了を予定している学期の終了時に次の各号に定める事項をすべて満たした場合、研究科長は、研究科委員会の議を経て課程の修了を認めることができる。

- (1) 本研究科博士課程後期課程に大学院学則第32条第2項に規定する期間在学していること。
- (2) 第11条に規定する修了に必要な単位数を修得していること。
- (3) 博士論文の審査および最終試験に合格していること。

(教員職員免許状)

第19条 中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(公民)もしくは高等学校教諭一種免許状(福祉)を取得している者、または取得できる単位を修得している者で、応用社会学専攻博士課程前期課程または後期課程において教育職員免許法による専修免許状を取得しようとする者は、立命館大学学位規程第17条第2項または第18条第2項により修士学位または博士学位を授与されるほか、中学校教諭専修免許状(社会)を取得しようとする者は別表3-1、高等学校教諭専修免許状(公民)を取得しようとする者は別表3-2または高等学校教諭専修免許状(福祉)を取得しようとする者は別表3-3の科目より24単位以上を修得しなければならない。

2 応用社会学専攻博士課程前期課程および後期課程において取得することができる教育職員免許状の種類および教科は、別表4のとおりとする。

(社会調査士課程)

第20条 応用社会学専攻博士課程前期課程または後期課程において、社会調査士の資格を取得しようとする者は、立命館大学産業社会学部別表7-(3)の科目より16単位以上を修得しなければならない。

(専門社会調査士課程)

第21条 応用社会学専攻博士課程前期課程または後期課程において、専門社会調査士の資格を取得しようとする者は、別表5の科目より6単位以上を修得しなければならない。

(改廃)

第22条 本研究科則の改廃は、社会学研究科委員会の議を経て決定し、教学委員会の承認を得る。

附 則

- 1 この研究科則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず、第7条、第8条および第10条から第18条は、2012年3月31日以前に入学した者については、なお従前の例による。

別表1 応用社会学専攻博士課程前期課程

科目区分			科目名	単位数	授業方法	選択必修	配当年次	適用
専門科目	研究領域	研究系						
研究領域 専門科目	現代社会 研究領域 科目	社会形成 研究系科 目	市民社会研究	2	講義	選択	1・2	
			経済社会研究	2	講義	選択	1・2	
			産業社会研究	2	講義	選択	1・2	
		社会文化 研究系科 目	社会文化研究	2	講義	選択	1・2	
			人間文化研究	2	講義	選択	1・2	
			社会病理研究	2	講義	選択	1・2	
		環境社会 研究系科 目	環境社会研究	2	講義	選択	1・2	
			地域社会研究	2	講義	選択	1・2	
			市民活動研究	2	講義	選択	1・2	
		メディア 社会研究 系科目	ジャーナリズム研究	2	講義	選択	1・2	
			グローバルメディア研究	2	講義	選択	1・2	
			メディア文化研究	2	講義	選択	1・2	
	教育社会 研究系科 目	教育社会研究	2	講義	選択	1・2		
		学校教育研究	2	講義	選択	1・2		
		教育臨床研究	2	講義	選択	1・2		
	スポーツ 社会研究 系科目	スポーツ社会研究	2	講義	選択	1・2		
		スポーツ文化研究	2	講義	選択	1・2		
		スポーツマネジメント研究	2	講義	選択	1・2		
	人間福祉 研究領域 科目	福祉社会 研究系科 目	福祉社会研究	2	講義	選択	1・2	
			高齢社会研究	2	講義	選択	1・2	
地域福祉研究			2	講義	選択	1・2		
国際福祉研究			2	講義	選択	1・2		
福祉政策研究			2	講義	選択	1・2		
福祉実践 研究系科 目		発達保障研究	2	講義	選択	1・2		
		ソーシャルワーク研究	2	講義	選択	1・2		
		人間発達研究	2	講義	選択	1・2		
		発達臨床研究	2	講義	選択	1・2		
		家族生活研究	2	講義	選択	1・2		
		NPOマネジメント研究	2	講義	選択	1・2		
国際社会	国際社会	福祉ケーススタディ	2	講義	選択	1・2		
		国際事情研究	2	講義	選択	1・2		

	研究領域 科目	基幹科目 群科目	国際社会研究	2	講義	選択	1・2			
			国際社会 研究系科 目	比較社会研究	2	講義	選択	1・2		
		国際福祉 研究系科 目	比較福祉研究	比較社会研究	2	講義	選択	1・2		
				日本社会研究	2	講義	選択	1・2		
				日本社会研究	2	講義	選択	1・2		
				国際ソーシャルワーク研究	2	講義	選択	1・2		
		研究科共通 専門科目	研究入門 科目群科 目	社会学研究法（研究）	社会学研究法（研究）	2	講義	選択	1・2	
					社会学研究法（高度専門）	2	講義	選択	1・2	
					現代社会研究	2	講義	選択	1・2	
					人間福祉研究	2	講義	選択	1・2	
基礎理論 科目群科 目	社会学基礎理論		社会学基礎理論	2	講義	選択	1・2			
			社会科学研究	2	講義	選択	1・2			
			社会学史研究	2	講義	選択	1・2			
			現代社会学研究	2	講義	選択	1・2			
			情報社会研究	2	講義	選択	1・2			
			社会福祉学研究	2	講義	選択	1・2			
指導科目 群科目	特別演習		特別演習	2	演習	必修	1			
			特別演習	2	演習	必修	1			
			特別演習	2	演習	必修	2			
			特別演習	2	演習	必修	2			
研究科共通 スキル 科目	語学運用 科目群科 目		アカデミックライティング	アカデミックライティング	2	講義	選択	1・2		
				アカデミックP&D	2	講義	選択	1・2		
				資料文献研究 A	2	講義	選択	1・2		
				資料文献研究 A	2	講義	選択	1・2		
				資料文献研究 B	2	講義	選択	1・2		
				資料文献研究 B	2	講義	選択	1・2		
	専門社会 調査士関 連科目群 科目	情報処理統計学	情報処理統計学	2	講義	選択	1・2			
			情報処理統計学	2	講義	選択	1・2			
			社会調査研究	2	講義	選択	1・2			
			社会調査研究	2	講義	選択	1・2			
研究科共通 オプシ ョン科目	特殊講義 科目群科 目	応用社会学特殊講義 A	応用社会学特殊講義 A	2	講義	選択	1・2			
			応用社会学特殊講義 B	2	講義	選択	1・2			
			応用社会学特殊講義 C	2	講義	選択	1・2			
			市民活動特殊講義	2	講義	選択	1・2			
	実習・ブ	応用社会学実習 A	応用社会学実習 A	2	実習	選択	1・2			

	プロジェクト科目群 科目	応用社会学実習B	4	実習	選択	1・2	
		応用社会学実習C	2	実習	選択	1・2	
		先進プロジェクト研究	4	演習	選択	1・2	
	履修交流 科目群科 目	応用社会学講義	2	講義	選択	1・2	
		単位互換履修科目	1～4	講義	選択	1・2	

注 適用欄は、当該授業科目の受講を可とする者の入学年月日を表す。

別表2 応用社会学専攻博士課程後期課程

科 目 名	単位数	授業方法	選択必修	配当年次	適 用
応用社会学特殊研究	2	演習	必修	1	
応用社会学特殊研究	2	演習	必修	1	
応用社会学特殊研究	2	演習	必修	2	
応用社会学特殊研究	2	演習	必修	2	
応用社会学特殊研究	2	演習	必修	3	
応用社会学特殊研究	2	演習	必修	3	

注 適用欄は、当該授業科目の受講を可とする者の入学年月日を表す。

別表3 - 1 中学校教諭専修免許状（社会）

区分	科 目 名	単位数	授業方法	選択必修
教科に関する 科目	社会学基礎理論	2	講義	選択
	現代社会研究	2	講義	選択
	社会文化研究	2	講義	選択
	産業社会研究	2	講義	選択
	地域社会研究	2	講義	選択
	市民社会研究	2	講義	選択
	環境社会研究	2	講義	選択
	経済社会研究	2	講義	選択
	情報社会研究	2	講義	選択
	現代社会学研究	2	講義	選択
	社会学史研究	2	講義	選択
	社会病理研究	2	講義	選択
	人間文化研究	2	講義	選択
	ｽﾎｰﾙ文化研究	2	講義	選択
	社会学研究法（研究）	2	講義	選択
	社会学研究法（高度専門）	2	講義	選択
	社会調査研究	2	講義	選択
	社会調査研究	2	講義	選択
	資料文献研究 A	2	講義	選択

資料文献研究 A	2	講義	選択
資料文献研究 B	2	講義	選択
資料文献研究 B	2	講義	選択
応用社会学講義	2	講義	選択
市民活動研究	2	講義	選択
ジャーナリズム研究	2	講義	選択
メディア文化研究	2	講義	選択
グローバルメディア研究	2	講義	選択
教育社会研究	2	講義	選択
学校教育研究	2	講義	選択
教育臨床研究	2	講義	選択
スポーツ社会研究	2	講義	選択
スポーツ社会学研究	2	講義	選択
国際事情研究	2	講義	選択
国際社会研究	2	講義	選択
日本社会研究	2	講義	選択
日本社会研究	2	講義	選択
比較社会研究	2	講義	選択
比較社会研究	2	講義	選択
社会科学研究	2	講義	選択
社会統計研究	2	講義	選択

別表 3 - 2 高等学校教諭専修免許状（公民）

区分	科目名	単位数	授業方法	選択必修
教科に関する 科目	社会学基礎理論	2	講義	選択
	現代社会研究	2	講義	選択
	社会文化研究	2	講義	選択
	産業社会研究	2	講義	選択
	地域社会研究	2	講義	選択
	市民社会研究	2	講義	選択
	環境社会研究	2	講義	選択
	経済社会研究	2	講義	選択
	情報社会研究	2	講義	選択
	現代社会学研究	2	講義	選択
	社会学史研究	2	講義	選択
	社会病理研究	2	講義	選択
	人間文化研究	2	講義	選択
	スポーツ文化研究	2	講義	選択
	社会学研究法（研究）	2	講義	選択

社会学研究法（高度専門）	2	講義	選択
社会調査研究	2	講義	選択
社会調査研究	2	講義	選択
資料文献研究 A	2	講義	選択
資料文献研究 A	2	講義	選択
資料文献研究 B	2	講義	選択
資料文献研究 B	2	講義	選択
応用社会学講義	2	講義	選択
市民活動研究	2	講義	選択
ジャーナリズム研究	2	講義	選択
メディア文化研究	2	講義	選択
グローバルメディア研究	2	講義	選択
教育社会研究	2	講義	選択
学校教育研究	2	講義	選択
教育臨床研究	2	講義	選択
スポーツ社会研究	2	講義	選択
スポーツマネジメント研究	2	講義	選択
国際事情研究	2	講義	選択
国際社会研究	2	講義	選択
日本社会研究	2	講義	選択
日本社会研究	2	講義	選択
比較社会研究	2	講義	選択
比較社会研究	2	講義	選択
社会科学研究	2	講義	選択
社会統計研究	2	講義	選択

別表 3 - 3 高等学校教諭専修免許状（福祉）

区分	科目名	単位数	授業方法	選択必修
教科に関する科目	人間福祉研究	2	講義	選択
	社会福祉学研究	2	講義	選択
	福祉社会研究	2	講義	選択
	高齢社会研究	2	講義	選択
	地域福祉研究	2	講義	選択
	家族生活研究	2	講義	選択
	国際福祉研究	2	講義	選択
	NPO マネジメント研究	2	講義	選択
	福祉政策研究	2	講義	選択
	人間発達研究	2	講義	選択
	発達臨床研究	2	講義	選択

発達保障研究	2	講義	選択
ソーシャルワーク研究	2	講義	選択
福祉ケーススタディ	2	講義	選択
比較福祉研究	2	講義	選択
比較福祉研究	2	講義	選択
国際ソーシャルワーク研究	2	講義	選択

別表 4

専攻	免許状の種類	教科
応用社会学専攻	中学校教諭専修免許状	社会
	高等学校教諭専修免許状	公民、福祉

別表 5 専門社会調査士課程科目

専門科目	科目区分		科目名	単位数	授業方法	選択必修
	研究領域	研究系				
研究科 共通 専門科目	研究科 共通 スキル 科目	専門社会 調査士 関連科目	社会調査研究	2	講義	選択
			情報処理統計学	2	講義	選択
			社会調査研究	2	講義	選択